



ロータリーは  
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

# 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007～2008年度 高山中央RC会長テーマ

第723回「**戮力協心**」 H19・8・5

平成19年 8月 5日 (日) 第723回例会

## 家族納涼例会

16:00～ 角正

担当 家族・親睦活動委員会

(出席報告)

本日の出席…30名 出席率…71.43%  
前々回の補正…38名 出席率…90.48%

(幹事報告) 永家 行嗣さん

(高山ロータリークラブより)・IM開催のご案内  
日時:9月24日(月)10:30～  
場 場:高山グリーンホテル  
登録料:10,000円

(タイムスケジュール) 司会 山本 辰男さん

17:40 受付  
本座敷32名、離れ大座敷10名、離れ小座敷6名  
(計48名)

17:55 本座敷に全員集合

18:00 点 鐘 松之木会長  
会長挨拶 松之木会長  
幹事報告 永家幹事  
親睦委員長挨拶 清水委員長

琴・尺八の演奏  
「胡茄の歌」

下畑 喜久英さん (第1琴)  
清水 眞枝さん (第2琴)  
山口 裕信さん (尺八)

抜刀術・尺八のコラボレーション

山崎 馨さん (抜刀術)  
田原 将山さん (尺八)

各自席に戻る

18:40 乾 杯 平林副会長  
めでた 三枝会長エレクト  
自由に庭や部屋を移動、親睦を深める

21:00 食事をすませ荷物を持って本座敷に集合  
「手に手つないで」

点 鐘 松之木会長

(会長挨拶) 松之木 映一さん

皆様こんにちは

本日は家族納涼例会に沢山の皆様にご出席いただきましてありがとうございます。家族委員会の伊藤委員長、親睦委員会の清水委員長をはじめ委員会メンバーの皆様には本日の設営にあたり色々ありがとうございました。

本日は角正さんを高山中央ロータリークラブで貸切らせていただきましたので、時間の許す限り、ご自由に庭の散策や、料理を楽しんでいただきたいと思います。

おいしい料理の引き立て役は料理が盛られている器があります日本で有名なのは、有田焼があります。

佐賀県の有田を中心とする一帯から産する磁器、朝鮮から渡来した李 参平が1616年に日本で初めてこの地で磁器を制作しました。伊万里港から積み出したので、伊万里焼とも言います。

又、石川県山中町九谷から産出する陶磁器、江戸初期に焼かれていたのが途絶え、江戸末期に青木 木米が金沢市春日山に開窯した再興九谷といわれる九谷焼きがあります。高山市の焼物はどうだったでしょうか。高山は江戸幕府の直轄地(天領)でした。

江戸末朝天保12年(1841年)その時の高山陣屋飛騨郡代豊田 藤之進が地元にならな産業の発展をめざし、現在の陶房所在地「洗草」という地名の所に陶磁器製造所を開窯させたのが始まりです。尾張瀬戸、加賀九谷から職人を招き戸田 柳造、小林 伊兵衛他何人かの職人を招き飛騨九谷、飛騨赤絵と呼ばれる優れた作品ができました。

しかし、江戸幕府崩壊の影響を受け、一時衰退しましたが、明治11年に三輪源次郎はじめ有志によって引き継がれ後藤 新平、勝 海舟、山岡 鉄舟の関わりで芳国社(會)と命名され現在に至っております。

たまたま私の祖父が、昔骨董品を扱っていらして、芳国會の洗草焼の販売をしていましたので、紹介させていただきました。

創 立 1991年 5月 20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12:30～
- ◆例会場 / ひだホテルプラザ3F・☎(0577) 33-4600
- ◆事務局 / 高山市花園町1-15 丸越商事4F  
☎(0577) 36-0730/FAX (0577) 36-1488  
E-MAIL: <http://www.r771121.com> / t-c-rc/
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事 / 永家 行嗣

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1 真実か どうか
  - 2 みんなに公平か
  - 3 好意と友情を深めるか
  - 4 みんなのためになるか どうか



(委員長挨拶) 親睦活動委員長 清水 幸平さん  
 本年度親睦活動委員長を務めさせていただきます。一年間よろしくお願いします。  
 本日は家族委員会と協力して、家族納涼例会を格式高いこ角正様にて開催する運びとなりました。  
 琴や尺八の演奏や抜刀術の技を鑑賞していただき、そのあと、お美味しい料理やお酒を楽しんでいただきたいと思います。  
 どうぞ時間の許す限り、ゆっくりと楽しんでください。



初めて角正で開催された納涼家族例会は、大方の期待通り、大変楽しい会となった。

余興も乾杯前に演じられ、少し不安もあったが、それぞれの出し物が場の雰囲気とも馴染み、大変楽しめたし、本座敷と離れとに別れた設営のこともあり、画期的なスケジュールだったと思う。一つ言わせていただくなら、汗だくで酒を酌み交わした本座敷と、エアコンの効いた離れとでは、必然的に温度差が生じた交流であったにちがいない。と思うのは私だけ……？

(会報委員会 高原 清人)